



# Flash News

〈フラッシュニュース〉

三重大学

第30号

## 目次

- 学長が三重大学教育学部附属の4校園を訪問
- 「第51回東京三重県人会大会」に学長が出席
- 「第12回三重大学国際ジョイントセミナー・シンポジウム」に参加
- 学長表彰
- 水産食品開発のための科学技術相談
- 桑名市教育委員会と人文学部間で連携協力協定に調印
- SOI(School of Internet) Asia プロジェクト
- International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows, ICJSF-2005
- 第17回国立大学法人共同研究センター長等会議開催
- 東海地区国立大学合同進学説明会開催
- フルブライト・メモリアル基金による米国教育者が教育学部を訪問

## 学長が三重大学教育学部附属の4校園を訪問



10月21日、三重大学教育学部附属の4校園を学長、理事等5名で訪問し、養護学校、幼稚園、中学校、小学校の順で施設見学をしました。建物の老朽化や整備要望についての認識を深めた後、教育方針・現状と課題解決に向けての意見交換を行いました。最後に、学長・理事等が小学校5年生の各教室に分かれて児童たちと給食をともにし和やかな会話をしました。このような視察は本学の現状や課題をできるだけ現場に即して把握し懸案の解決につなげようとの学長の決意に基づく試みであり、今後も学内各部局等の現状把握に努める予定です。

## 「第51回東京三重県人会大会」に学長が出席

10月16日、東京都内で標記大会が開催され、豊田学長と渡邊理事が出席しました。同会顧問の野呂三重県知事の祝辞に続き、来賓挨拶として学長が本学の現状説明とともに来年度創設予定の「三重大学振興基金」への協力要請を行いました。500名余りの出席者からは、ふるさと三重県の発展に貢献する本学の活動に感銘を受けたと、多くのエールが寄せられました。なお、「三重大学振興基金」については今後、同窓会代表や地域の経済団体にも働きかけ、発起人会を結成し2006年度から本格的な外部資金増強の活動に入る予定で、本学内外を通じて広く協力がいただけるよう周知を図って行きます。



豊田学長 渡邊理事

## 「第12回三重大学国際ジョイントセミナー・シンポジウム」に参加

10月16日～21日、標記の国際セミナー・シンポジウム (<http://www.ujs.edu.cn/school/>) が協定大学の江蘇大学(中国)で開催され、4カ国(日本、中国、タイ、インドネシア)から6大学(本学からは亀岡副学長を団長として、教職員10名、学生15名)の参加がありました。大会では、地球が抱える「人口・食料・エネルギー・環境」に関する四大問題(グローバル・テトラレンマ)について、英語での研究発表やワークショップが行われました。会期中には各国の伝統文化が紹介され、異文化交流が深まる有意義な大会でした。次回は、来年本学で開催される予定です。

## 学長表彰

全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)「ダンス甲子園」で2004年度特別賞、2005年度奨励賞の優秀な成績を上げたダンス部に対して、本学における課外教育活動の成果が特に顕著であり、かつ、課外教育活動の振興に功績があったと認め、10月12日に学長表彰が行われました。「ダンス甲子園」は、高校・大学のダンス部やグループを対象に1998年にスタートした日本で唯一の創作ダンスの全国大会で、全国から3,000人を超える学生が参加し、延べ3日間にわたり開催される大会です。



## 水産食品開発のための科学技術相談

このたび、生物資源学部水産製造実験工場（工場長：加納 哲教授）が主催する第1回水産食品開発のための科学技術相談が、同学部会議室にて開催されました。岐阜県内企業の開発研究者の相談に対して、工場長をはじめとした工場関連教員7名と産学連携関係者4名（岐阜大学1名含む）が参加しました。企業側から技術的問題点が示され、その解決策について活発な意見交換が行われました。相談終了後、企業側から「多くの有意義な指導をいただいた。」との発言があり、双方が充実したものとなりました。水産製造実験工場では、今後も同様の相談会を行っていく方針です。



## 桑名市教育委員会と人文学部間で連携協力協定に調印



人文学部（学部長：井口 靖教授）は9月30日、桑名市教育委員会との相互連携協力協定に調印しました。桑名市教育委員会とはすでに、2003年から「桑名サテライトカレッジ」として市民講座を共催で開講し、好評を博してきましたが、今後これをさらに発展させるとともに、人文学部の学生が桑名市での教育実習やインターンシップなどを行うことにより学生教育の面でも交流が深まることが期待されます。

## SOI(School of Internet) Asia プロジェクト

10月3日、櫻井しのぶ医学部看護学科教授と宮田さおり助手、中川一郎国際交流センター客員教授が、SOI Asia プロジェクトにおける、「自然災害とPTSD」というテーマの講義を慶應大学三田校舎にて配信しました。このプロジェクトは、インターネット基盤を使って、アジア諸国の高等教育に貢献することを目標としており、アジア11カ国20箇所の大学や研究機関に授業の配信を行っています。本学は今回の講義が初めてですが、今後は、オフィシャル校として積極的に参加し、アジアの大学との双方向のアカデミックな交流を広げていく予定です。

## International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows, ICJWSF-2005

10月5日～8日、鳥羽国際ホテルにおいて噴流、後流及びはく離流れに関する標記国際カンファレンス（議長：社河内敏彦教授・工学部大学院講座）が開催されました。主催は日本機械学会、共催は本学、三重県、日本流体力学会、日本航空宇宙学会などで、16カ国から招待講演7件を含む124件の噴流、後流及びはく離流れに関する論文が集まり大きな成功を収めました。（URL:<http://www.ees.mach.mie-u.ac.jp/ICJWSF/>）

## 第17回国立大学法人共同研究センター長等会議開催

10月13日志摩観光ホテルにおいて標記会議が行われました。全国の国立大学法人にある地域共同研究センターなどの産官学連携を実施する63機関、180名を超える担当者が一堂に会し、情報交換が行われました。豊田学長の挨拶に始まり、産官学連携に関連した組織体制のあり方や共同契約における「不実施補償」など、各大学の事例をもとに活発な議論がなされました。会議終了後はホテルでの懇親会、翌14日には海の博物館、伊勢神宮などのエクスカージョンを行い、実りの多い会議でした。



## 東海地区国立大学合同進学説明会開催



10月16日、初めての試みとして東海地区国立8大学（名古屋、名古屋工業、愛知教育、豊橋技術科学、岐阜、三重、静岡、浜松医科）合同進学説明会を名古屋市・河合塾千種校において開催しました。山田教育担当理事の三重大学説明には受験生約150名が入場し、熱心に聞き入りました。また、隣室では各大学の進学相談が行われ、本学のブースには多くの受験生、保護者が訪れ、各学部教員が懇切丁寧に相談に応じ、盛況の内に終了しました。

## フルブライト・メモリアル基金による米国教育者が教育学部を訪問

10月17日、フルブライト・メモリアル基金による米国初等・中等教育者20名が教育学部を訪問しました。映像による三重大学紹介に続いて、丹保健一学部長が教育学部の概要を説明しました。その後訪問者と教育学部の教員、学生代表との間で、日米の教育に関する今日的課題、日本における情報技術教育、塾通いの実態、思春期の生徒指導、美術教育とともに教育学部の取組みなどについて活発な意見交換がなされました。



## 投稿のお願い

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

亀岡孝治 (vpre-info@mie-u.ac.jp) または 井上真理子 (mariko-j@ab.mie-u.ac.jp) まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで (<http://www.mie-u.ac.jp>) ご覧いただけます。》 編集責任者 / 理事・副学長 渡邊悌爾